

山形県郷土館「文翔館」修繕事業

2,000円以上ご寄付いただいた方にご芳名を記載した文翔館だよりをお送りします

あなたの寄付を文翔館の修繕に活用します！

●大正ロマン薫る「文翔館」を後世に伝えるために

山形県郷土館（愛称「文翔館」）は、1916年（大正5年）に建てられた英国近世復興様式のレンガ造りの建物で、1975年（昭和50年）まで県庁舎として使用されてきました。国の重要文化財に指定されており、当時の工法を忠実に復原された建物は、大正ロマンの薫りを今に伝えています。

現在は郷土資料館として一般公開するとともに、コンサートやギャラリーなど様々な文化プログラムの場として活用されており、本県の主要な観光地の一つとなっています。



▲旧県庁舎
郷土館として公開しています



▲旧県議会議事堂
コンサート等で活用されています

●寄付の使い道について

文翔館は建設から105年、復原工事及び郷土館としての開館から26年が経過しており、施設や設備の老朽化が進んでいるため、今後、計画的に改修工事及び設備更新を実施していく必要があります。

本事業にいただいた寄付金は、文翔館の修繕に活用させていただき、魅力的な郷土館づくりに取り組んでまいります。

【活用例】

- ・照明設備などの設備改修、屋根修繕
- ・その他、施設の維持修繕に活用します。



●お礼状及び文翔館だより「文翔館」の送付

本事業にご賛同いただき、ご寄付いただきました方には、お礼状とご芳名を記載した文翔館だより「文翔館」をお送りいたします。